

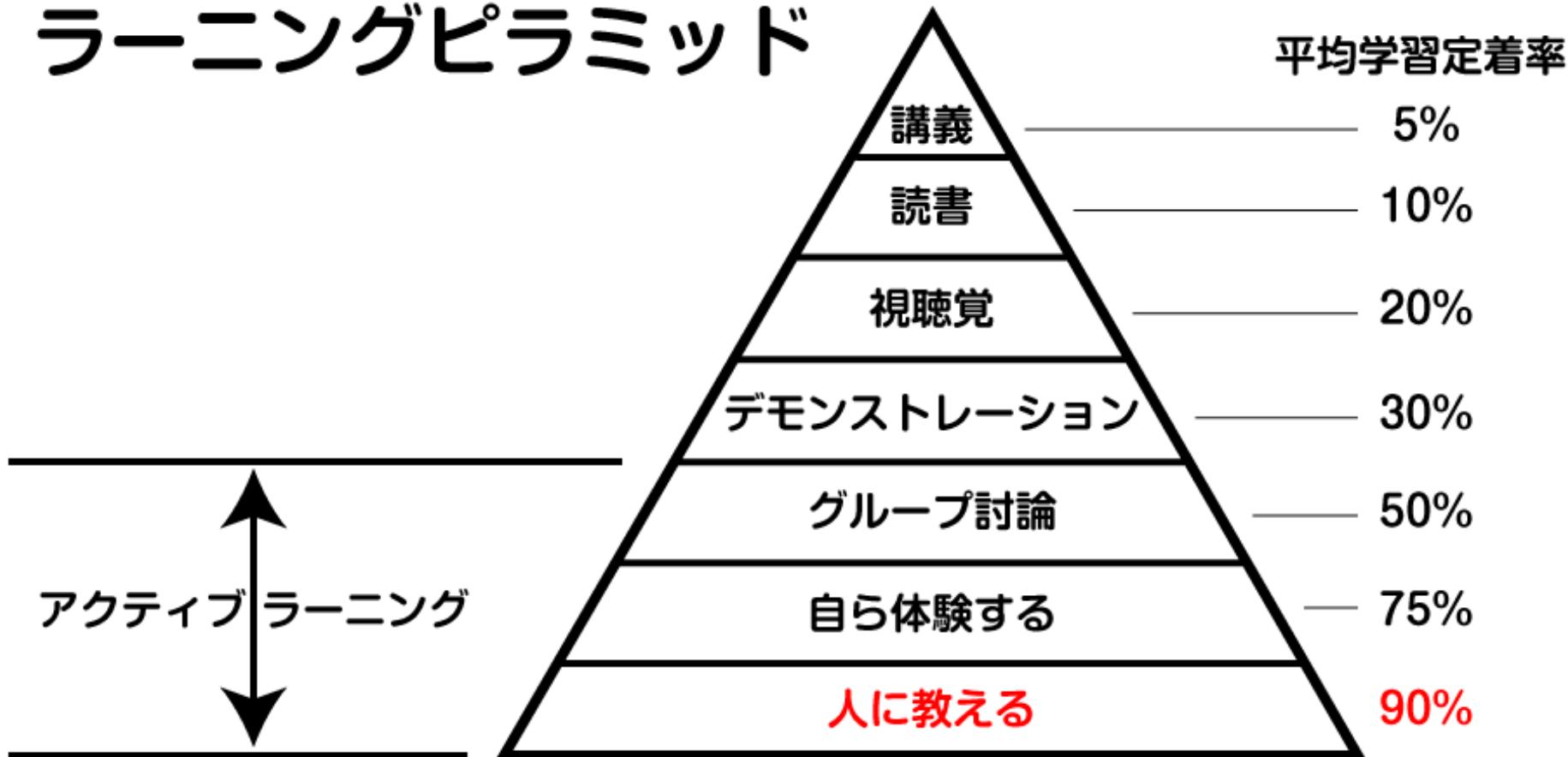
青梅市立第四小学校研究発表会

「・・・たい！」がうまれる  
楽しい授業のユニバーサルデザイン

日本授業UD学会 監事  
元日野市立日野第三小学校 校長  
京極 澄子

R7. 11. 28

# ラーニングピラミッド



出典 : The Learning Pyramid National Training Laboratories

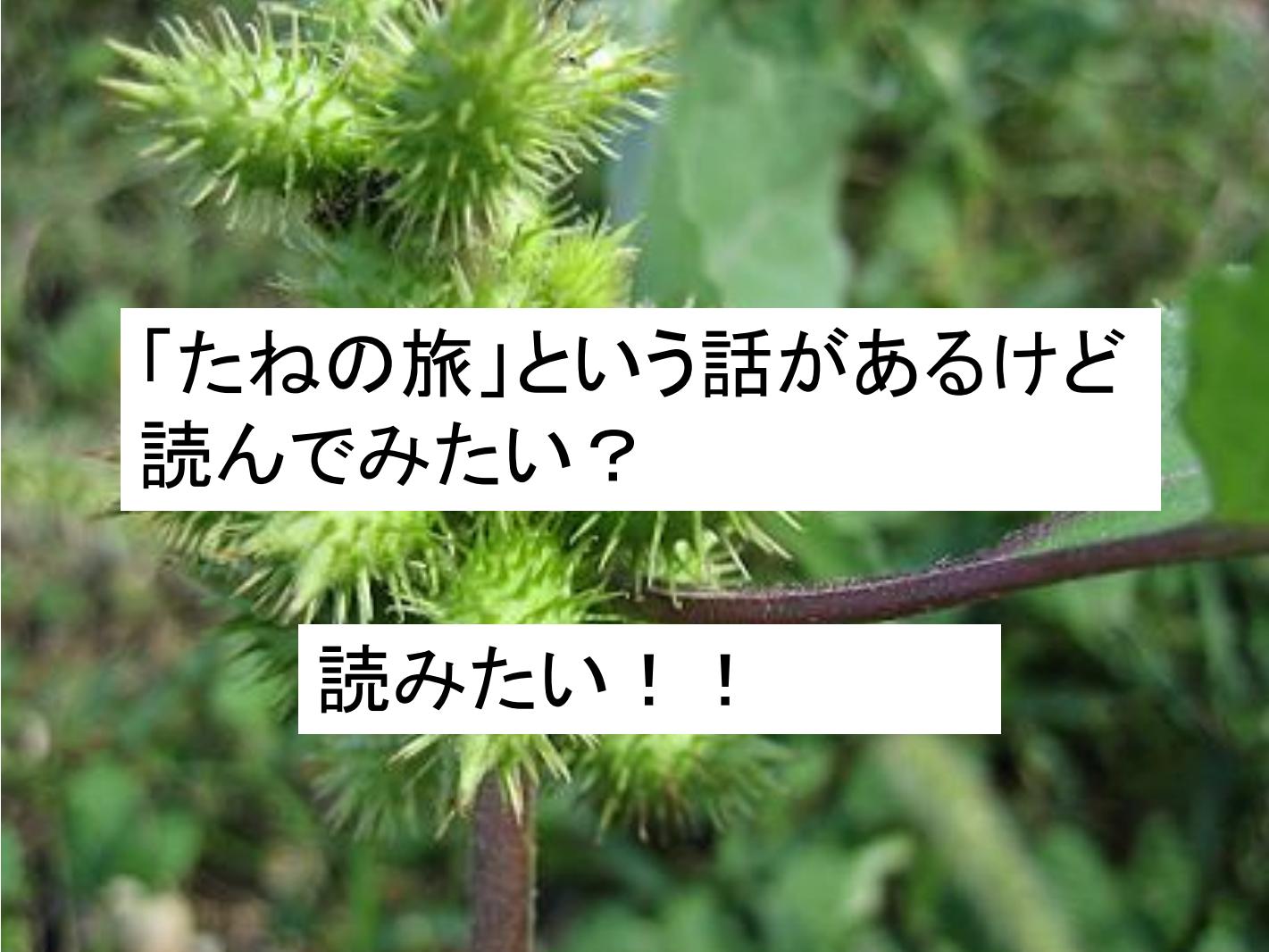
二人組(三人組)になってください。

何の写真でしょう？









「たねの旅」という話があるけど  
読んでみたい？

読みたい！！

隠す





考えたい！

伝えたい！

# 読みたい！伝えたい！考えたい！

## ～全力参加の児童を目指した国語科の指導の工夫～

「子どもの姿から学ぶ」  
という教師の決意



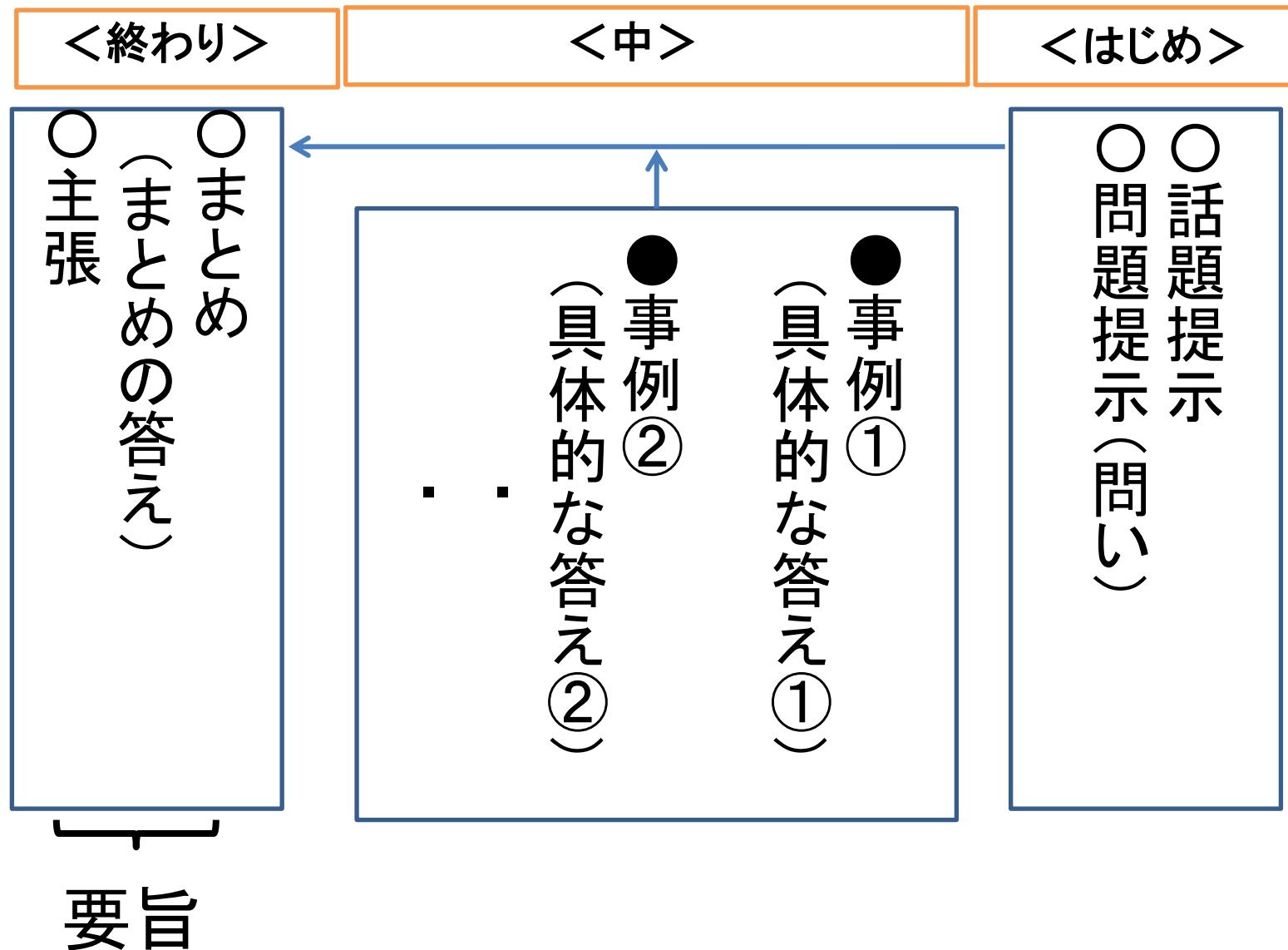
「何を学ぶか」を明確に

# 「説明文」の授業

- ・教材文を通して「論理的な読み方」を指導する
- ・教材以外の説明文も読めるようにする。

- ①文章の構成
- ②要点・要約
- ③要旨
- ④批評
- ⑤表現技法

# ①文章の構成(三段構成)

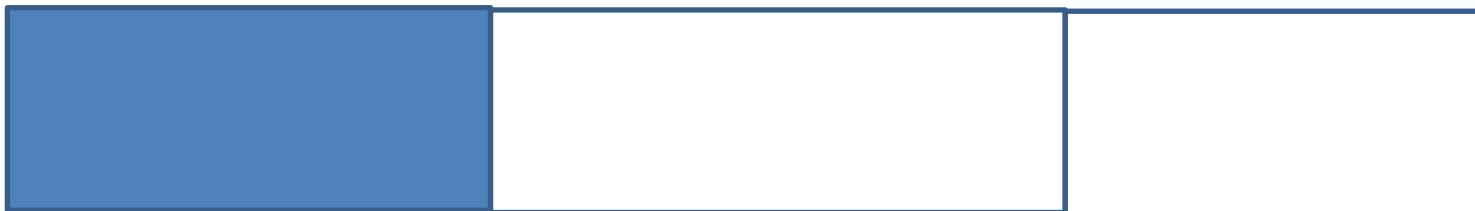


# 三段構成の型

＜終わり＞

＜中＞

＜はじめ＞



要旨

筆者が一番伝えたいこと

## ②③要約・要点・要旨

＜要約＞内容を短くまとめること(作業) / 短くした文

＜要点＞段落を要約したもの(成果物)

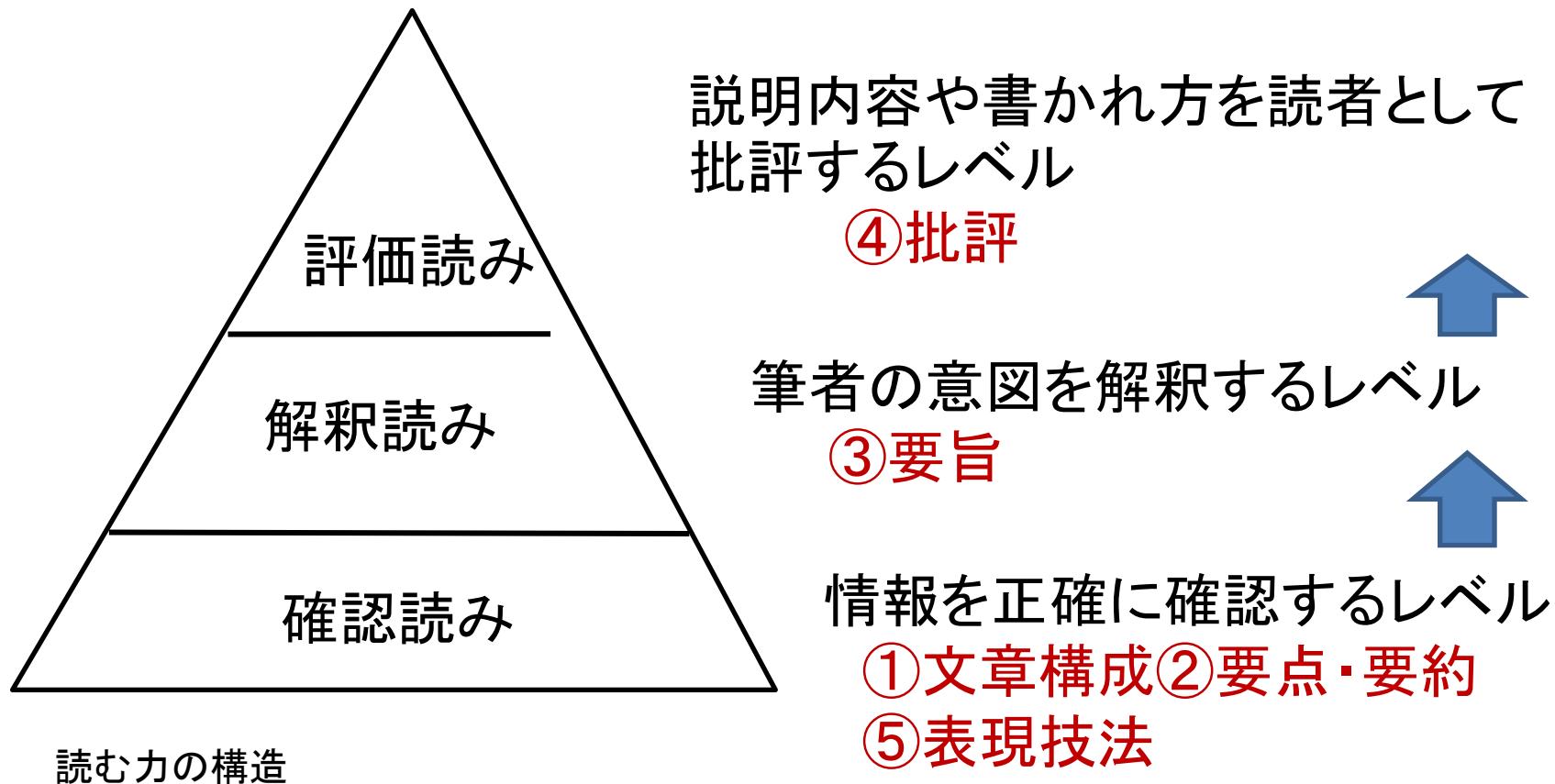
1. 段落の中に文がいくつあるかを数える
2. 数えた文の中で何番目が中心文かを決める
  - ・内容を抽象的にまとめた文が中心文になることが多い
  - ・段落の役割にそって考える
3. 中心文を短くまとめる

＜要旨＞全文を要約したもの(成果物)・筆者の主張

1. 100文字要約の方法
  - ・具体部分(事例)をすべてそぎ落とし、抽象部分をまとめる(約60字)
  - ・具体部分から取り入れたい部分を抜き出し加える(約40字)

# ④批評

- 批評：筆者の意図をふまえた上で、説明の是非を評価して読む力



# 説明的文章の読みの系統表

説明的な文章の読みの系統指導表

系列	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
構造と内容の把握	ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。	ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。			
精査・解釈	ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選びだすこと。	ウ 目的意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。	ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。			
考えの形成	オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想を持つこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。			
共有	カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。			
①文章の構成	○問い合わせ	○三部構成 (初め、中、終わり)	○大きな問い合わせ	○文章構成 (序論・本論・結論)		○文章構成の変形
	○話題	○まとめ	○小さな問い合わせ	○文章の型 (尾括・頭括・双括型)		
	○意味段落		○隠れた問い合わせ	○文章構成図		
	○事例		○事例とまとめの関係	○事例の並列関係	○まとめから事例を読む	
	○事例の順序		○実験・観察と考察の関係	○事例の対比関係		
②要点・要約	○文、段落	○小見出し	○キーワード			
		○主語、述語	○中心文			
			○要点、修飾語			
			○筆者の立場での要約	○読者の立場での要約		
			○要約文			
③要旨	○題名 ○筆者	○まとめ		○要旨、筆者の主張	○要旨と題名の関係	○要旨と事例の関係
				○尾括型、頭括型、双括型		
④批評	○初めて知ったことや面白かったこと	○自分の経験と関連つけ	○説明の工夫	○「話題選択」の意図		○共感、納得、反論
	○「問い合わせ」の意図	○感想	○「事例選択」の意図	○「文章構成」の意図		
	○「事例の順序」の意図					
⑤表現技法	○問い合わせの文、答えの文	○事実の文	○具体的な語や文	○語りかけの文末表現	○具体例の役割	○文末表現の効果
	○疑問の文末表現	○理由の文	○抽象的な語や文	○定義づけ、強調の「 」	○表やグラフ、数値の効果 (常体、敬体)	
	○説明の観点	○理由の接続詞・文末表現	○事実の文末表現	○順説、逆説、並列、添加、	○譲歩構文 (現在形、過去形)	
	○同じ説明の仕方（類比）	○順序やまとめの接続語	○意見の文末表現	○選択、説明、転換の接続語	○長所・短所 (イエスバット法)	
	○説明の違い（対比）	○図、写真と文章の関係	○指示語（こそあど言葉）		○西暦、年号	
					○略述、詳述	

「どのように学ぶか」を工夫

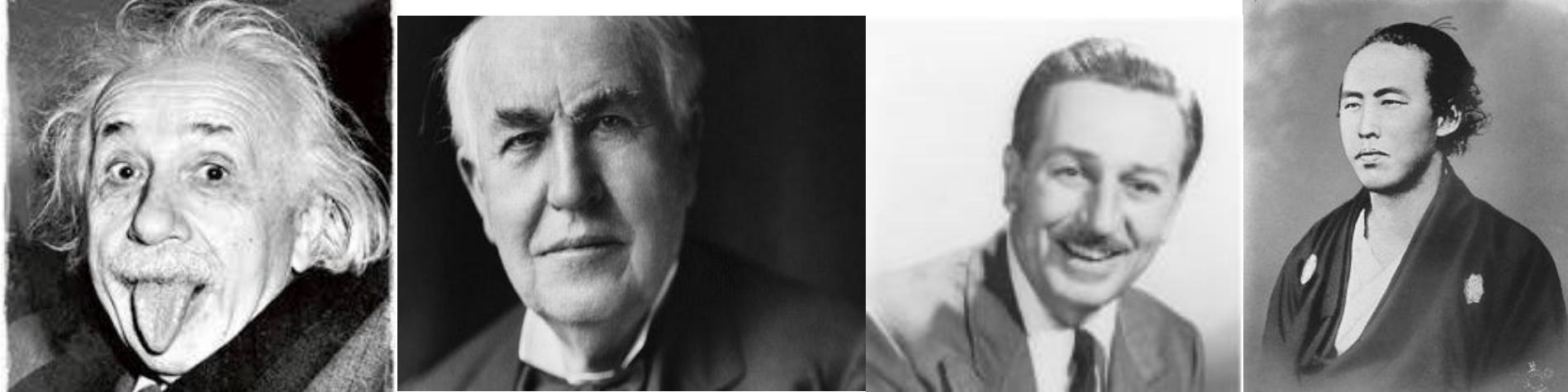
# 授業のユニバーサルデザイン

学びにくさのある子にとって、  
楽しく「わかる・できる」授業は、  
他のすべての子にとっても、  
楽しく「わかる・できる」授業である。



どの子も楽しく  
「わかる」「できる」「探究する」  
授業のつくり方



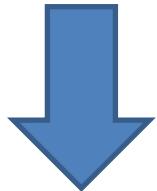


人は誰でも持つて生まれた特性がある

社会的な有利ならば **才能**

社会的な不利も有利もなければ **個性**

社会的な不利ならば **障害**



状況を整えて困ることを減らす

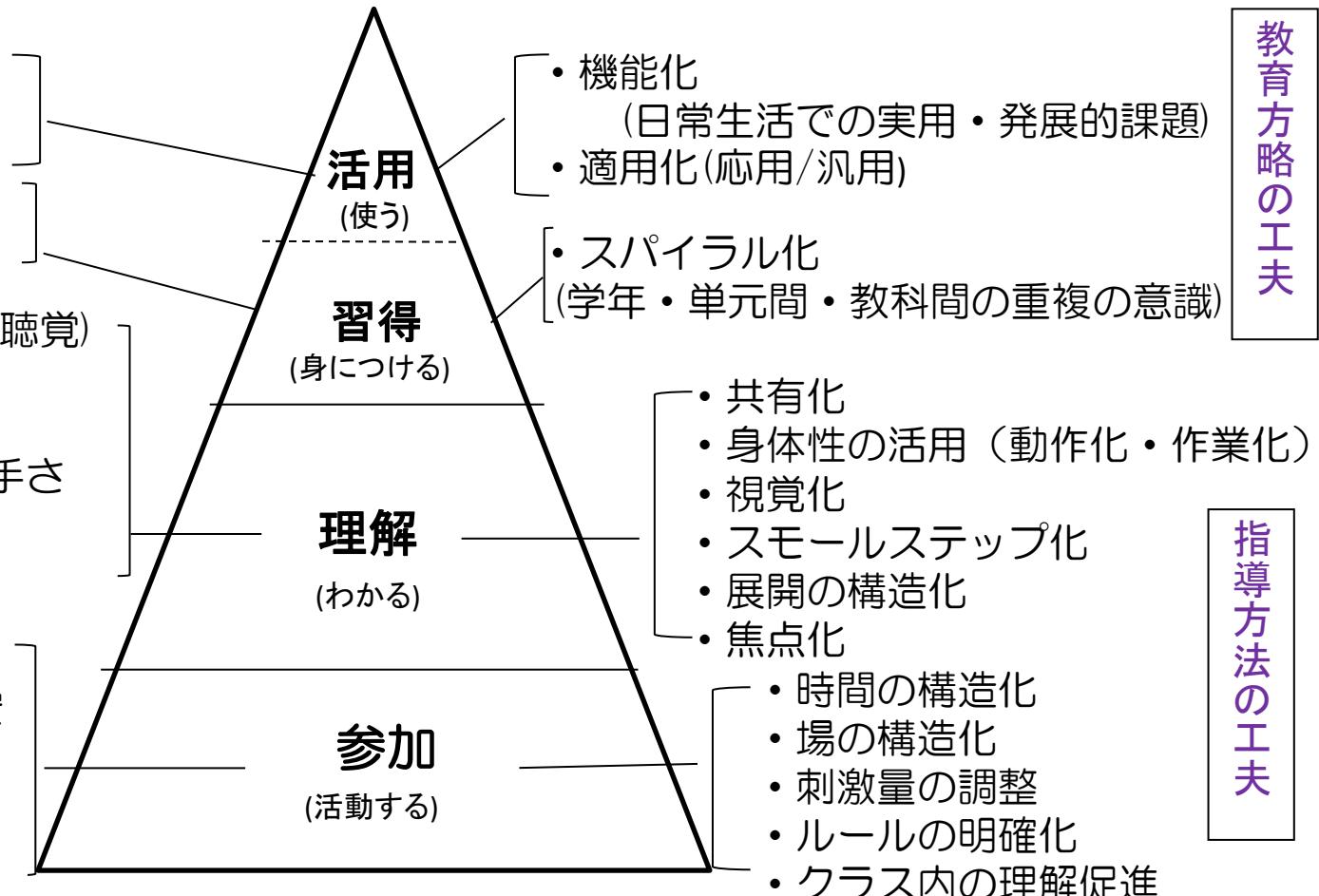
# 授業のUD化モデル図

日本授業UD学会

教育方略の工夫

指導方法の工夫

- ・抽象化の弱さ
- ・般化の不成立
- ・記憶の苦手さ
- ・定着の不安定さ
- ・認知のかたより(視覚・聴覚)
- ・複数並行作業の苦手さ
- ・曖昧なものへの弱さ
- ・イメージすることの苦手さ
- ・学習スタイルの違い
- ・理解のゆっくりさ
- ・状況理解の悪さ
- ・見通しの無さへの不安
- ・関心のムラ
- ・注意集中・多動
- ・二次障害



授業での学びの階層モデル

バリアを生じさせる特徴

授業でのバリアを除く工夫



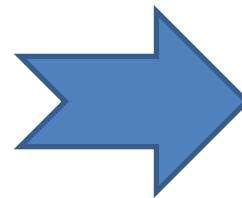


# 不参加が生じやすいのは 「聞くだけの 時間」

「聞くだけの  
時間」を

減らす

充実させる



焦点化

視覚化

共有化

ひとりひとりの子どもの  
「考える時間」を増やす





# 「聞くだけの授業」→「考え方づける授業」

## 技法論

局面で、子どもの参加度、理解度をどのように上げるか

### 焦点化

目標や発問、活動をしほる工夫  
(本当に大事なものだけ残す方法・単元指導計画)

### 視覚化

視覚的手がかりの効果的な工夫  
(見えにくいものを見るようにする方法)

### 共有化

問い合わせの距離を長くする工夫  
(多様な考え方を学び合う方法)

### しあげ

教えたいことを子供の学びたいことに  
転化させる工夫(主体的な参加を促す方法)

## 展開論

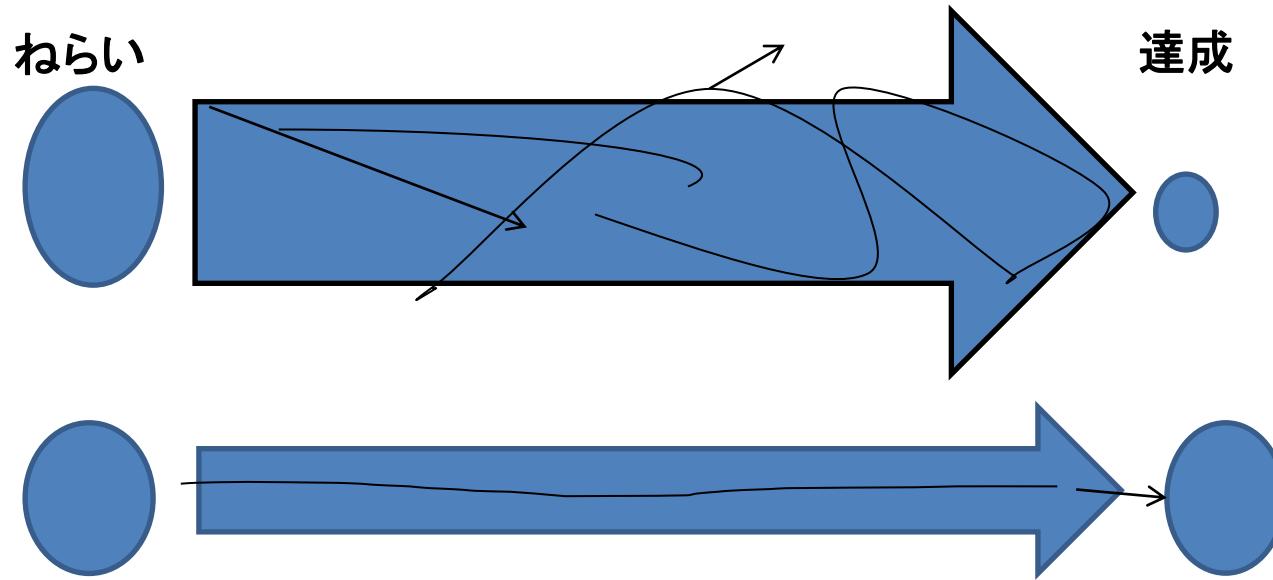
45分の授業で、子どものモチベーションをどのように維持するか

### 展開の構造化

子供の思考が確実に深まっていく工夫

# 焦点化

## 焦点化することは捨てる



- 単元が終わったとき、どんな「**教科の力**」がついたか？
- そのことは、他の学習に使えるか？（**汎用性**）
- 子ども「**メタ認知**」が行われたか？（ふりかえり）

# 「考えたい！」がうまれるために

## ① 目標の焦点化

- ・ 単元指導(学習)計画で見通しを
- ・ めあては、具体的に示す

## ② 発問の焦点化

- ・ 具体的・視覚的に、短く問う
- ・ 選択肢を用意する

## ③ 活動の焦点化

- ・ 作業量を絞る
- ・ 本人の得意な学び方を認める
- ・ 小さな努力をこまめにほめる

# 目標（めあて）を具体的に示す

目標を達成した時の子供の姿がはっきり分かるように！



なぜ、戦力差があるのに日本はロシアと戦争をしたのだろう？



〇〇の理由で、日本はロシアと戦争をしたのだ。

- ・「ぎょせんについて表にまとめて伝え合おう」
- ・「ビーバーの仕事とひみつを説明しよう」
- ・「興味を持った内容を、要約文で伝えよう」
- ・「2つの資料から、自分の考えを表そう」
- ・「筆者は、なぜ、今順番に事例を説明したのだろう？」
- ・「しまうまの大きくなっていく様子を、ライオンと比べよう」

# 視 覚 化

何の写真かな？



導入で課題の見える化

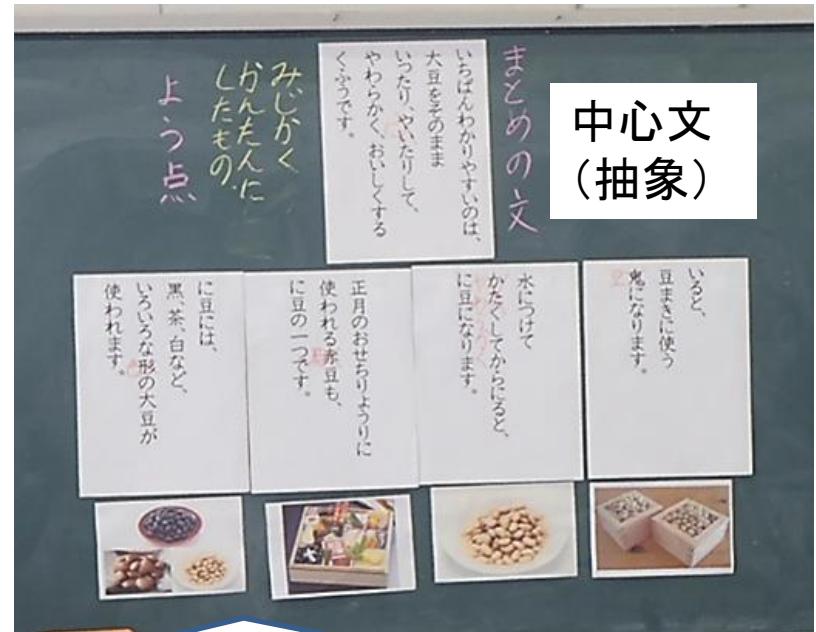


板書で授業展開の見える化

④豆太は、小犬みた  
いに体を丸めて、  
表戸をそつとあけ  
て、走り出した。

④豆太は、小犬みた  
いに体を丸めて、  
表戸をそつとあけ  
て、走り出した。

キーセンテンスの提示

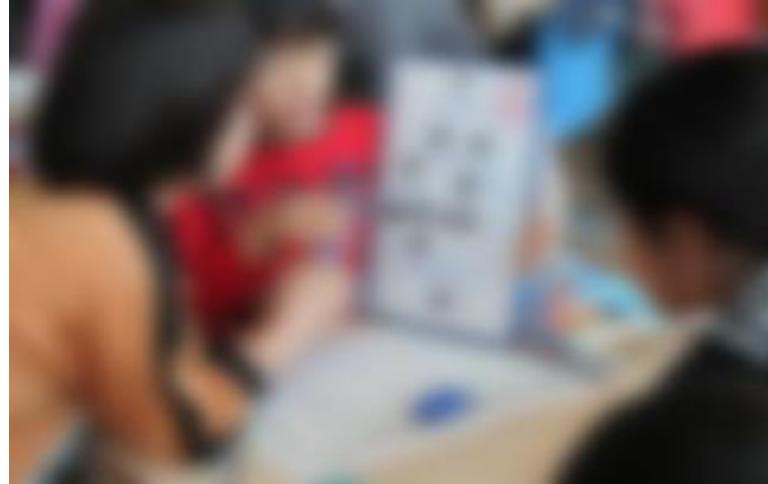


抽象と具体の提示

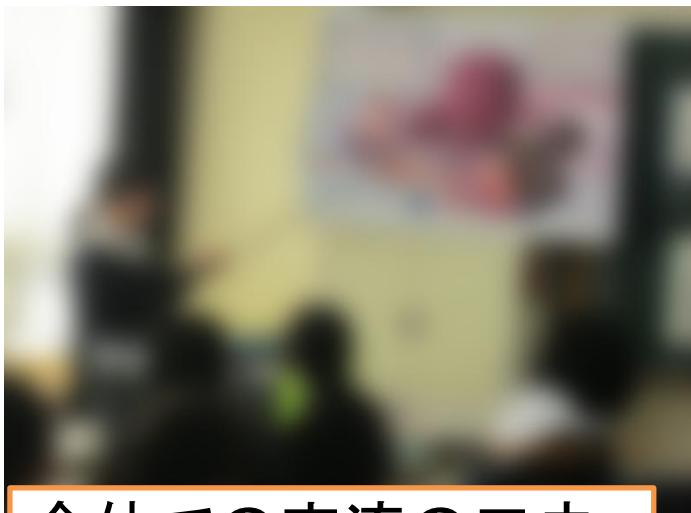
# 共有化



発言の機会が持てる工夫



少人数の交流



全体での交流の工夫

「話したい！」が起こるように

- ①対話のねらいを明確に
- ②「しあわせ」を用意
- ③ペアでの対話が基本
- ④温かい居心地のよい学級

# しあげ

## 教材に「しあげ」をつくる

- ①順序を変える ⑥限定する
- ②選択肢をつくる ⑦分類する
- ③置き換える ⑧図解する
- ④隠す ⑨配置する
- ⑤加える ⑩仮定する



筑波大付属小学校 桂 聖

教えたいことを子供の学びたいことに転化  
させる工夫(主体的な参加を促す方法)

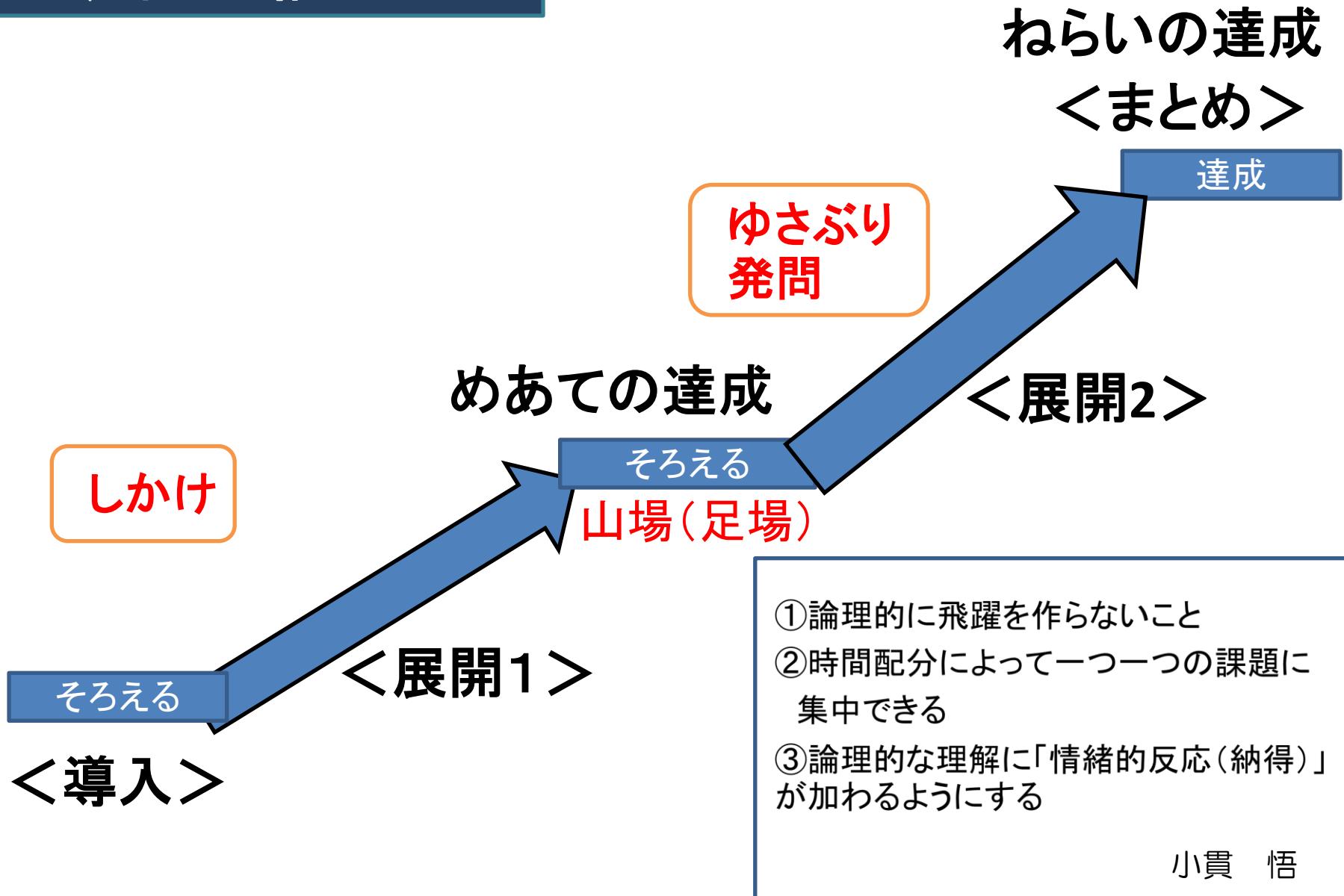
今日の授業では、  
どんな「しきけ」が見られましたか？

# 展開の構造化

## 学習活動

導入	「アンカーの打ち込み」 「なんだか楽しそう」「えっ 何？」「やりたい！」「知りたい！」	今日の勉強 楽しそう！	20 分
めあて	「子供のめあて」「やってみよう。なぜかな。どれかな。」		
展開1	「問題解決のプロセス」<アクティブ> 「教えられて理解する」から「考えて理解する」	考えたくなる しかけ	
山場 (足場)	「感嘆詞の発生」「できた！ わかった！ これだ！ おおー」		
ねらい	「教師のねらい」:本時の目標	ゆさぶり発問 しかけ	
展開2	「普遍化・適用化・機能化・応用・発展」<ディープ> 「もっとやってみたい！」「もっと知りたい！」		25 分
まとめ ふりかえり	「言語化・原理化」 「この授業で、学んだのは、……だ！」	メタ認知	

# 展開の構造化



今日の学びは楽しかったですか？

ありがとうございました